

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成30年6月27日現在

機関番号：23501

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2013～2017

課題番号：25370290

研究課題名（和文）アフリカ系アメリカ文学における東洋趣味と奴隷貿易の影

研究課題名（英文）The Transatlantic Slave Trade and Orientalism in African American Literature

研究代表者

中地 幸（NAKACHI, SACHI）

都留文科大学・文学部・教授

研究者番号：50247087

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究はアフリカ系アメリカ文学における東洋趣味を大西洋奴隷貿易の問題を鑑みながら明らかにしようとする試みであった。19世紀後半から20世紀初頭の欧米で、日本の工芸や美術品がもてはやされ、ジャポニズムという現象が起こったが、白人芸術家のみがそれに夢中になったのではない。アフリカ系アメリカ人作家たちもジャポニズムに敏感に反応したのである。しかしアフリカ系アメリカ人作家はオリエンタリズムの機構に内在する人種差別に気がついていて、ネラ・ラーセンの『流砂』はその点を批判的に描きだしている。リチャード・ライトの俳句も、その抗議的側面を見ていかなければならない。

研究成果の概要（英文）：This was a research to examine African American Orientalism in literature and its relation with the Transatlantic slave trade. Japonisme is considered as the Euro-American cultural movement among white artists, but actually African American writers also responded to the movement. But it is also important to understand that African American writers were conscious of racism in the system of Orientalism. Nella Larsen criticized it in her novel, Quicksand. In Richard Wright's Haiku, his protest against racism is also found.

研究分野：アメリカ文学

キーワード：ジャポニズム 大西洋奴隷貿易 アフリカ系アメリカ文学 モダニズム 英語俳句 プリミティヴィズム オリエンタリズム 人種問題

1. 研究開始当初の背景

18～19世紀のヨーロッパではシノワズリーやジャポニスムが流行し、いわゆる東洋趣味が花開くが、この分野の研究の中では常に西洋と東洋は白人と東洋人という型の中で議論され、エスニック・マイノリティは議論の中に入らなかった。本研究はそういった従来の研究の中への挑戦であり、アフリカ系アメリカ人にとっての東洋趣味を考えようとするものであった。

2. 研究の目的

本研究「アフリカ系アメリカ文学における東洋趣味と奴隷貿易の影」はアフリカ系アメリカ文学における東洋趣味について調査すると同時に、それがどのように奴隷貿易の影を反映しているかについて考察するものである。アフリカ系アメリカ人作家であるポーリーン・ホプキンスのエジプト、ネラ・ラーセンのシノワズリー趣味、W・E・B・デュボイスにおけるインド、リチャード・ライトの俳句、チャールズ・ジョンソンにおける禅仏教など、アフリカ系アメリカ文学は様々な形で「東洋」を意識してきたが、アフリカ系アメリカ人作家の場合、東洋への眼差しは奴隷制への眼差しへと反転していくという特徴を持つ。本研究は、とりわけ1920年代から1970年代までの作家におけるブラック・オリエンタリズムについての新しい定義を試みるものである。

3. 研究の方法

(1) 東洋趣味がどのように西洋の中に取り入れられたかを調査するために、欧米の美術館を中心に資料を収集した。また奴隷貿易関係の資料をかつての奴隷貿易港に建てられている博物館などをまわって集めた。

(2) 一方で、アフリカ系アメリカ文学やエスニック・マイノリティ文学の中に現れる東洋趣味を考察し、学会などでの議論を通して深めた。

(3) リチャード・ライトはR・H・ブライスの俳句の翻訳を読み、日本文化に親しんだが、俳句がどのように西洋に流布したのかを考えていく一つのアプローチとしてアジア系作家、とりわけヨネ・ノグチに注目して考察を試みた。

4. 研究成果

(1) 初年度である平成25年度は、7月にパリで開催されたICLA(国際比較文学学会)で "On the Translation of Japanese Haiku by R. H. Blyth" を発表した。またこのテーマをさらに深め、1月には、ハワイ国際人文芸術学会にて、Blyth と Henderson の俳句翻訳の方法と理念を比較した英語論文を発表した。研究論文は「ハーレム・ルネッサンスにおけるプリミティヴィズムとネグロフィリア」を発表し、アフリカン・アメリカン・モダニズムとアールデコの関係性を論じた。内容は、文学表象と芸術表象において、エキゾティズムを1920年代のアフリカ系アメリカ人がどのよう

に活用し、それをブラック・パワーの表象へと変容させていったかをたどるものである。もう一本は、「八島太郎のトラウマ・ナラティブ 『新しい太陽』と『水平線はまねく』」で、アメリカで絵本作家として活躍した八島太郎に焦点をおいた論文である。こちらは小林 富久子監修の『憑依する過去 アジア系アメリカ文学におけるトラウマ・記憶・再生』(金星堂)に収められた。翻訳として、エドワード・マークスの著作『レオニー・ギルモアー・イサム・ノグチの母の生涯』(彩流社)を共訳出版した。そのほか宮本亜門演出の演劇 iSAM にエドワード・マークスが寄せたイサム・ノグチについての随筆の翻訳を行った。

(2) 平成26年度は7月にヨネ・ノグチ学会にて、野口米次郎の英語俳句とその俳句論の考察を発表した。また8月に世田谷美術館で開かれたジャポニスム学会にて「アメリカのジャポニスム演劇・文学とその背景」というタイトルで、アメリカにおけるジャポニスムについて発表。この中でアフリカ系アメリカ人と日本との関係も論じた。この発表は3月に論文として『ジャポニスム研究別冊』34号におさめられた。10月にはミシシッピの黒人州立大学であるミシシッピ・ヴァレー州立大学にて "Japanese Haiku as a Multicultural and Multinational Form" という演題の講演を行った。1月には、ハワイ人文学国際学会にて、八島太郎について発表した。さらに3月に上智大学にて行われたワークショップでは "Japanese Can Make Some Contribution to English Poetry: Yone Noguchi's Idea of Haiku and Its Translation" というタイトルで発表を行った。3月に出版された『都留文科大学大学院紀要』19号に「アジア系グラフィック・ノベルに描かれるエスニシティの問題: 『アメリカ生まれの中国人』、『同じ違い』、『スキム』を読む」を発表し、アメリカにおける「アジア」の問題について考察した。

(3) 平成27年度は5月に台湾の中国文化大学にて行われた Hwa Kang International Conference on English Language & Literature にて、Richard Wright's "Strange Fruit": His Haiku and Blues を講演、5月30日成蹊大学で行われた国際シンポジウム "Japan in the Eyes of Others" にて "Madame Butterfly as Japanese Lolita: Japanese Women in the Western Imagination and the Formation of "Kawaii" Culture in Modern Japan" を発表。また10月に行われた日本比較文学学会東京大会にて、「八島太郎のグラフィック・ノベルにおけるトラウマ経験の再構築」を発表。さらに1月にアメリカテキサス州オースチンで開催されたMLA大会で "Yone Noguchi's Haiku Poetics and Isamu Noguchi's Sculpture" を発表した。論文としてはミシシッピ大学出版から刊行された *African American Haiku: Cultural Visions* に "Richard Wright's Haiku, or the Poetry of Double Voice" を寄稿、これは2016年1月に出版された。また2016年3月に出版された『黒人研究』にネラ・ラーセンの『流砂』におけるコペンハーゲン-大西洋奴隷貿易と北欧オリエンタリス

ム視点から」に発表した。これはデンマークでの調査を大きく反映した成果である。

(4)平成28年度は5月にUniversity Press of Mississippiより発行された *Richard Wright: Writing American at Home and from Abroad* と題する Virginia Smith 教授編集の本に論文 "Richard Wright and the American South" を発表することができた。これは、アメリカ南部社会をうたったりチャード・ライトの俳句を中心に論じたもので、ライトの俳句は日本の俳句とは違い、社会抗議のメッセージを含んだものであることを主張し、アフリカ系アメリカ人の東洋趣味のありかたを考察した。6月にはアメリカ学会の人種と民族のセクションの発表の討論者を務めた。10月にはカリフォルニア大学バークレー校の図書館でヨネ・ノグチが発表した雑誌関係の調査を行った。この成果の一部として、2017年1月にハワイ国際人文学会で、ヨネ・ノグチの俳句についての発表を行った。また夏にヨーロッパで調査をしたジャポニスムとシノワズリーの研究の結果の一部は『都留文科大学大学院紀要』に "Looking into Exhibitions: Mimicry, Japonisme and Intermediality of Art" と題して、論文を寄稿した。またエスニック・マイノリティとジャポニスムの関係に焦点を絞りながら、野口米次郎を題材に論文を書いた。

(5)平成29年度はスペインのマラガで行われた CAAR (The Collegium for African American Research) 学会において "Richard Wright and the American South" という題目で発表を行った。これは2016年に出版された Virginia Smith 教授が編集された研究書の執筆メンバーによるパネルで、ライトの俳句がいかにアメリカ南部の人種問題を歌い上げているかという問題について発表した。またこの機会に奴隷貿易とかかわったスペインの都市をめぐる、海洋博物館を中心に、大西洋奴隷貿易関連の資料を収集をした。また8月末から9月にかけて、オランダに調査に行き、大西洋貿易関連や長崎などの貿易関連の資料、またジャポニスムやシノワズリーなどを中心とした東洋美術の受容を中心に調査を行った。10月には日本ウィリアム・フォークナー協会の招待でパネル講演を行った。フォークナーが取り上げる人種問題とコリア系アメリカ文学の Chang-Rae Lee の作品を扱い、両者をつなげる努力をした。ここで発表した論文では、ブラック・アトランティックの概念をどのように太平洋を舞台とした20世紀アジア系アメリカ文学に転用しうるかを考察した。12月に勉強出版から『日本文学の翻訳と流通』が出版され、その中に「反転するまなざしーヨネ・ノグチの日本文学・文化論」を発表した。これは、日本文学や文化がどのように西洋に発信されたのかを考察することにより、東洋文化の受容を考える論考であり、とりわけ俳句受容を考える上での問題をいくつか考察することができた。

5年間の研究プロジェクトを通して、アフリカ系アメリカ文学における東洋趣味と奴隷貿易の問題

をアジア系作家の視点などを取り入れながら考察した。結果として5に掲げた成果を残すことができた。とりわけリチャード・ライトにおける俳句の意味を考えた2本の論考をアメリカのミシシッピ大学出版社から出版された批評書におさめたのは大きな仕事となった。

5. 主な発表論文等(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

中地幸、星野文子、宮田真澄、早川真理子「英字新聞 *The Japan Weekly Mail* にみるヨネ・ノグチの姉崎正治考」『都留文科大学大学院紀要』22(2018): 43 - 57 .

Nakachi, Sachi, and Min Chen. "Looking at Exhibitions: Mimicry, Japonisme and Intermediality of Art." 『都留文科大学大学院紀要』21(2017): 89 - 102 .

中地幸「ネラ・ラーセンの『流砂』におけるコペンハーゲン 大西洋奴隷貿易と北欧オリエンタリズムの視点から」『黒人研究』85(2015): 44 - 55 .

中地幸「アジア系グラフィック・ノベルに描かれるエスニシティの問題: 『アメリカ生まれの中国人』、『同じ違い』、『スキム』を読む」『都留文科大学大学院紀要』19(2015): 71 - 85 .

中地幸「アメリカのジャポニスム演劇・文学とその背景」『ジャポニスム研究別冊』34(2015): 97 - 102 .

〔学会発表〕(計16件)

中地幸「Faulkner への遡行ーChang-Rae Lee の *A Gesture Life* における戦争・暴力・混血」第20回日本フォークナー協会全国大会、2017年10月13日

Nakachi, Sachi. "Richard Wright and the American South." The Collegium for African American Research (国際学会) 2017年6月15日

Nakachi, Sachi. "Discussing Race and Ethnicity in the US." アメリカ学会年次大会、2017年6月5日

Nakachi, Sachi. "Yone Noguchi's Poetics and His English Haiku" The 15th Hawaii International Conference on Arts and Humanities (国際学会) 2017年1月8日

Nakachi, Sachi. "Surviving Hiroshima: A Family Story and Women in WW II." Ohio University Multicultural Center. 2016.3.24.

Nakachi, Sachi. "Yone Noguchi's Haiku Poetics and Isamu Noguchi's Sculpture" Modern Language Association(国際学会)2016 .

1.04

中地幸「八島太郎のグラフィック・ノベルにおけるトラウマ経験の再構築」日本比較文学会東京大会、2015年10月17日

Nakachi, Sachi. "Madame Butterfly as Japanese Lolita: Japanese Women in the Western Imagination and the Formation of Kawaii Culture in Modern Japan."

International Workshop, "Receptions of Japanese Culture and Society in the West" (国際研究会) 2015.5.30.

Nakachi, Sachi. "Richard Wright's "Strange Fruit": His Haiku and Blues." 2015 Hwa Kang International Conference on English Language & Literature (招待講演・国際学会) 2015.5.03.

Nakachi, Sachi. "Japanese Can Make Some Contribution to English Poetry": Yone Noguchi's Idea of Haiku and Its Translation." Sophia University Institute of Comparative Culture Workshop (招待講演) 2015.3.07.

Nakachi, Sachi. "Memories of Imperial Violence: Taro Yashima's Graphic Novels as Stories of a Double Wound." Hawaii International Conference on Arts and Humanities. 2015.1.10.

Nakachi, Sachi. "Japanese Haiku as a Multicultural and Multinational Form." The Zelma T. Howard Lecture Series, Mississippi Valley State University (招待講演) 2014年10月27日

中地幸「アメリカのジャポニズム演劇・文学とその背景」ジャポニズム学会8月例会、2014年8月2日

中地幸「Japanese Hokkus について」第一回ヨネ・ノグチ学会、2014年7月12日

Nakachi, Sachi. "The Translation of Japanese Haiku by R.H. Blyth and Harold Henderson." Hawaii International Conference on Arts and Humanities, 2014.1.11.

Nakachi, Sachi. "On the Translation of Japanese Haiku by R.H. Blyth" ICLA Conference, 2013.7.19.

〔図書〕(計 7件)

中地幸 他著『日本文学の翻訳と流通—近代世界のネットワーク』 勉誠社、2017年

中地幸 他著『衣装が語るアメリカ文学』金星堂、2017年

Nakachi, Sachi 他著 *Richard Wright: Writing America at Home and from Abroad*. University Press of Mississippi, 2016.

Nakachi, Sachi 他著 *African American Haiku: Cultural Visions*. U of Mississippi P, 2016.

中地幸 他訳『レオニー・ギルモアー・サム・ノグチの母の生涯』彩流社、2014.3.

中地幸 他著『憑依する過去 アジア系アメリカ文学におけるトラウマ・記憶・再生』金

星堂、2014年

中地幸 他著『言語学、文学 そしてその彼方へ』ひつじ書房、2014年

産業財産権の名称 産業財産権の種類、番号 発明者

書
〔産業財産権〕
出願状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:
〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中地幸 (NAKACHI, Sachi)
都留文科大学・文学部・教授

研究者番号: 50247087

(2) 研究分担者

()
研究者番号:

(3) 連携研究者

()
研究者番号:

(4) 研究協力者

()